

授業科目		科目概要・形式	配当年次	オンライン参加
健康科学フィールド演習		2 単位 60 時間(コマ) 演習科目	博士前期 1～2 年次 通年開講	可・ ☐ 不可
科目責任者	研究科長 (古川 照美)			
担 当 者	各領域代表、副代表及び特別研究指導教員			
1. 科目のねらい・目標				
健康科学の実践的基盤となる公衆衛生に関して、①エビデンスに基づくアプローチ、②ヘルスプロモーションを目指した諸活動の企画や運営、③保健医療システムや政策の理解、④実践者としてのリーダーシップ、⑤多様な連携のためのコミュニケーション等について、コンピテンシーを高めることを目標とする。そのための学習機会として、様々なフィールドにおける実践活動や調査・研究（ボランティアやインターンシップを含む）、国内外における各種トレーニングコースや学術活動等に参加し、外部の実践者や研究者との協働や実践活動を通して主体的に学びを深めることをねらいとする。				
2. 授業計画・内容				
1) 対象となる項目 本科目のねらい・目標に沿い、上記①～⑤のコンピテンシーを高めるための活動を対象範囲とする。例えば、公衆衛生の問題解決に資する国内外のフィールド調査活動やボランティア活動への参加等、実際の公衆衛生活動を行う現場（国際機関、行政機関、企業、NGO・NPO など）での活動、インターンシッププログラム、各種トレーニングコース等への参加を対象とする。				
2) 履修の希望 1) に該当する活動への参加が予定され、それに対する単位の認定を希望する場合には、活動を開始する1か月前までに、履修希望届けを教務学生課に提出すること。				
3) レポートの提出と発表 単位の認定を受ける年次の1月末までに、レポートを提出するとともに、本学大学院あるいはヘルスプロモーション戦略研究センターが主催する研究や実践活動の発表の場（例：保健医療福祉研究発表会、研究談話会、大学院が企画する発表会）において、対象となった活動や参加について報告すること。レポート内容の詳細や発表の方法については、本科目の履修希望を提出する際に別途指示する。				
3. 教科書、参考書				
・特に教科書は指定しません。				
4. 成績評価方法				
提出されたレポートや発表について、本科目のねらいや目標に照らし、その活動等の概要や成果（60%）、主体的・積極的な取り組み（40%）として評価する。				
5. 受講要件				
特に、ありません。				
6. 社会人学生に対する配慮				
・詳細については各領域の代表・副代表あるいは特別研究指導教員と相談してください。				
7. その他				
公衆衛生関連の専門職につく人として、人間性を深めたり、保健医療福祉における新しい考え方などを学び、専門性を高めてほしいと思います。科目の特性上、オンデマンドはありません。				